

2018-2019
RIテーマ



インスピレーションになるう

創立/1954年(昭和29年)6月30日
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

例会日/毎週火曜日
会長/田中大成

例会場/武生商工会館
幹事/三田村久光
会報委員長/塩田憲康

第3117回 例会記録 平成31年2月19日(火)

本日出席会員31名

メイクアップ(前々回) 3名

出席率(前々回補正) 76.47%

ロータリーソング「我等の生業」

ゲスト エッセイスト 増永迪男氏

会員総数
52名

会長挨拶 第65代会長 田中大成



今日まず、ゲストの紹介をさせていただきます。エッセイストで日本文藝家協会会員・福井山岳会会員の増永迪男様です。

後ほど、「福井の山に登り続けて70年」と題して卓話をお願いしています。

本日、次年度の第二回理事会が開催されました。ガバナーの公式訪問が8月1日に予定されています。次年度が動き出したと感じた次第です。

さて、今日は企業の社員採用について思ったことを話させていただきます。昨日、建物の建設の件でお客様の所へ行ってきたのですが、あるIT企業の社長さんは、975㎡の建物を建設するのですが、この使用目的は、社員の福利厚生のために建てるとのことでした。それも、人材確保のために建設するとのことでした。

その企業は、今年31名の新入社員を採用し、来年も30名、再来年は40名と3年間で100名の計画だそうです。自分の会社と比べると大変なギャップがありますが、学生の確保には相当の費用が掛かることを感じました。良い環境で、仕事をしてもらいたい、という意識が、若者に魅力を感じさせるということです。

私も、まずは、物心両面での環境整備をできる所から考えていかなければいけないと思いました。

はこのようにブナだけの林を作ります。実はこのブナの林は新しいもので、まだ50年くらいのブナが並んでいます。もともとこの林のあたりは炭焼きの原木林でした。それが昭和30年頃から始まった家庭でのエネルギー革命で、炭が使われなくなり炭の原木林がブナ林に変わってきたのです。このような林は日野山の上流の山々でも殖えてきました。ブナを含む広葉樹の林は、美しい水の源とされています。

『日本百名山』という本があります。多くの人に親しまれていますが、著者は深田久弥さん、昔の福井中学の出身です。この日本百名山に福井の山が一つ入っています。それが荒島岳、このような山です(写真を見せる)。この荒島岳は大野盆地の東側にあるものですから、荒島岳が朝日に染まる写真は見たことがなかったですね。特に冬、真っ白な山が赤く染まる所を想像しました。写真を撮りたいと思いました。写真を撮るには、荒島岳の東側の山に登らないといけません。山また山のところに夜登る必要がある。このような自分勝手な登山に人を誘うわけにはいけませんから、真夜中に出かけました。九頭竜湖の向こうの雪山に登りました。星空のもとで、雪の山は案外明るいんですね。といっても、前に伸ばした手が見えない暗さでしたが、そこで明かりは付けずに登りました。上に上にと登って行けば、だいたいのところ頂上に着きますからね。薄明るくなる頃いい位置に来ました。最初に白山に日が差して、それから次第に低い山の頂が光りはじめました。荒島岳はもうすぐです。その時どうしたことでしょう? 荒島の頂上に薄く雲がかかりました。「なんたることでしょうか」と思いましたね。けれども、朝日が差す時になって雲は薄れました。寒かったですね。

大野で分かれる九頭竜川の支流に、真名川があります。この川の源に屏風山があります。岐阜県との境の山です。福井県で一番奥の山になるかもしれません。この山に大きな檜があるらしい、との噂を耳にして出かけました。今回も一人です。尾根を登って行きました。檜は乾燥した所を好みますから、必ず尾根に生えているのです。もちろんそんな奥地の山に道はありませんから、ひたすらヤブを分けて登りました。このような時は何も考えずに登っています。ただ俯いて2、3時間登った頃でしょうか? 額のあたりに視線を感じました。ハッと顔を上げると、カモシカがいました。3、4メートル先で立ち止まり、こちらをじっと見えています。カモシカは珍しいもの

を見つめる習性があります。そこでカメラを出して写真を撮りましたが手振れでした。次を用意している時、カモシカはそわそわし始めました。今にもどこかに行きそうです。とっさに私は踊ってみせました。嬉しいことにカモシカはこちらをじっと見つめたので、撮影は成功しました。

それから約1時間あとに、大きな檜に出会いました。根上りとなっていて、幹を6本立てている檜でした。目の高さの周囲は10メートルを超えていました。根上りになっている所は洞になっていて、3、4人なら雨宿り出来そうでした。

山に住み生き物も、こういう所はよく利用するようで、檜の根本から獣道が伸びていて、少し辿るとクマの糞が複数ありました。

ところで、公式の日本一の檜は高知県にあります。周囲は8.4メートルです。比べて屏風山の檜は10メートル。単純にこちらの方が大きいようですが、ここが難しい。屏風山の檜は2本が合体しているようにも見えます。その檜には色々な木々が寄生していました。1本の木に見えながら、森のように見えていました。

時間が来たのでこの辺で話を終わりたいと思います。

- ニコニコ箱 …… 33,000円 累計 1,134,000円
- ・増永様卓話よろしく申し上げます。
【田中大成】【田中 茂】【三村昌之】
【三田村久光】【上野 巖】
 - ・ちょっと。早退させていただきます。 【石川満夫】
 - ・増永様お久しぶりです。
本日はよろしく願いいたします。 【鎌谷忠雄】
 - ・増永様、お元気そうで何よりです。
卓話楽しみにしております。 【佐々木忠彦】
 - ・増永さんようこそ。楽しい山の話、期待しております。
【奥村 忠】
 - ・誕生日自祝 長らく休みまして! 【白崎弘康】
 - ・本日、炉辺会1班様、お待ちしております。
【西本久美子】
 - ・今日もたくさんのニコニコありがとございます。
【今村清孝】

例会変更情報/福井県内ビジター受付(2月27日~3月12日)

2月28日 福井水仙RC 18:00~18:30 福井パレスホテル
2月28日 武生府中RC 12:00~12:30 JA越前たけふ農協会館1階
3月 8日 福井あじさいRC 12:00~12:30 ホテルリバージュアケボノ
3月 8日 福井西RC 12:00~12:30 パードグリーンホテル
*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

<p>本日(2月26日)の例会 炉辺会合発表</p>	<p>3月5日 第一例会行事 新入会員卓話 奥村 充会員</p>	<p>3月12日 ゲスト卓話 カワイ(株) 専務取締役 河合洋典氏</p>	<p>3月19日 休 会</p>
--------------------------------	--	---	----------------------

プログラム

ゲスト卓話

「福井の山に登り続けて70年」

エッセイスト 増永迪男氏

昭和22年の白山登山から今まで、山登りを続けていますから、登山歴は70年余りになります。私にとって山ほどおもしろい所はないというのが正直な感想です。



ご当地武生の山では、なんと言っても日野山ですね。山の形が富士山形で越前富士と呼ばれています。江戸時代、松尾芭蕉は北陸道を歩き紀行文『奥の細道』を残しましたが、その中に出てくる福井の山は日野山ただひとつです。雛ヶ岳と呼ばれることもあったようです。

この日野山から東へ、山並みが続いています。とても趣がある所です。はっきりとした山道はありませんが、私は夏冬共に登りました。まず日野山から降りて行くと牧谷越、ここは朝倉街道の峠です。一条谷から都を目指す軍勢が通ったことでしょうか。ここから東へ登って大山。いったん下がって登った山が野見ヶ岳、山の上には大きな池があります。武周ヶ池です。さらに東へ行くと岩ヶ谷山。ここから山並みは北に向かいます。ぐっと登って唐木岳、この山からは池田の里が見えます。しばらく尾根を歩いた地点から、回って西に向かいます。すると大平山。西へ続く尾根は少しずつ低くなって、味真野へと降りて行きます。これで日野山から続く山なみを逆U字形に歩くことになりました。だいたい2日がかりのコースです。

このU字の中に文室の里があり、それに続いて味真野、すぐ近くに紙の五箇が現れます。武生の山で歴史を感じさせる、古い時代の匂いが色濃く残る所です。残念ながら福井にはこのような山はありません。(写真を出して)これはブナの木の写真です。ブナ